



保護者の感想から（一部抜粋）

料理は苦手で、台所でのお手伝いもほとんどやりませんでした。今回のコンテストも夏休みの宿題で私の強制で応募しました。まさか最終審査まで残るとは思っていなかったのですが、この一ヶ月は娘と話し合い練習して、母の私がみてもとても上達しました。野菜がどちらかというと苦手な娘ですが、家でできた野菜とご近所で頂いた野菜を使った食事を作りました。

これは山で働く父親の夏バテと熱中症を気づかったメニューです。野菜が苦手ながらも毎日味見して、父親にも評価をもらって完成させました。

「食」というものに少しでも興味をもってくれた事、作って喜んでもらえるうれしさを感じてくれた事。とてもすばらしい経験になったと思います。ありがとうございました。

「ふくしまっ子ごはんコンテスト」は今年で3回目の応募になるので、メニューを考えるのに少し時間がかかりました。夏休みとしての宿題でしたが、庭のプランター（畑がないため）に植えた夏野菜を今年も使いました。

時々（休日）、主人が料理をし、子供達の好みを聞いたり、出来上がった料理について色々話したりしています。料理には大変興味があるらしく、楽しい時間のような感じです。今回の審査もとても楽しみにしていました。今回は、最終審査に参加させて頂きありがとうございました。

小さい頃から料理が好きだったのですが、準備や後片付けは苦手でした。今回最終審査に出場が決まった事で、始めから全て一人で工夫しながら毎日練習をしていました。毎日少しずつ調味料の量を変えながら研究していました。

毎日、作った料理をじいちゃん、ばあちゃん、お兄ちゃん達に試食してもらい、家族みんな協力して楽しくできました。1週間位同じ料理になってしまいましたが、作っている本人も自信がついた様で、他の料理にも挑戦していました。今回貴重な体験をさせていただきましてありがとうございました。

ごはんコンテストは、夏休みの宿題になっていましたので、早い段階で話は聞いていたのですが、本人が何を作りたいのなかなか決まらずギリギリになり、とりあえず朝ごはんらしい物を作ろうと娘と考えました。まさか最終審査に残るとは思っていなかったのですが、とても驚きました。

土・日・平日ともに忙しく、ほとんど練習もできず当日になってしまいました。娘が楽しく料理をすることができれば一番かなあと考えています。

上手に出来れば自信につながるとは思いますし、失敗すれば、たくさん反省できるのでこのコンテストへの参加は娘にとって良い経験になると思っています。

ふくしまっ子ごはんコンテストに初めて応募しました。夏休みに娘と一緒に献立を考えて、一緒に台所に立ちました。最終審査への出場が決まり、娘は何度も練習をしていました。このコンテストをきっかけに、食に興味を持ち、料理にも興味を持ってくれたようです。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。また来年も応募したいと、娘と話しております。

お弁当という事もありまして、量や栄養バランスを考えて作りました。夏に作ったという事もあり、色鮮やかな野菜を選びました。おにぎり、おかずと、食べやすく調理を工夫しました。今日まで何度か練習しましたが、回を重ねる度に、おいしく作ろうという気持ちが出てきたようで、私もサポートするのが楽しかったです。

今回の経験は食育につながるだけでなく、今後のいろいろな自信につながっていくと思います。私も貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

今回は学校の宿題という事で取り組んだようですが、自分で考え祖母に相談しながら調理した様です。一緒に調理するのは、ランチを作る時と毎年のバレンタインを作る位で、今回私が参加したのは提出する書類につける写真の撮影だけでした。

住んでいる地域は中学を卒業すれば何人かを除いては一緒に生活することはなく、親離れするので、それまでしか家庭教育が出来ません。今後生きていく上でとても重要なことですので、自分で考え失敗しながら成長して行ってほしいと思います。

日本の和食は昨年世界文化遺産に登録され、今世界から注目されています。地域でもソバ料理をはじめとした郷土料理を地産地消で提供することでお客様に喜んでもらう取り組みをしております。このすばらしい食文化は日本の宝です。県の皆様も生産者とともに引き続きおいしい食の発展のため子どもの教育から努めていただきたいと思います。ありがとうございました。

最終審査まで残れるとは思っていなかったのが家族でびっくりして喜びました。しかし、1時間以内に作れるか不安があり、平日は無理でしたがお知らせをいただいてから毎週休みの日には練習に励みました。「楽しく笑顔で作ればおいしい料理になるよ!!」を合言葉に、練習を踏まえて親子の会話も弾んだように感じ、よい経験の場を与えていただき感謝しています。ありがとうございました。

参加者全員分の弁当を、全員で試食できるよう、中のキッチンテーブルに集めればよいと思いました。

中学生になってから、帰宅時間が遅くなり、週末も部活動に行き、小学生の時より、時間がなく台所に立つ事がほぼなくなりました。今回の出場が決まってからは、週末に何度か練習をして来ました。手際の悪さに何度か怒った事もありましたが今日の経験を生かし、今まで以上に食への興味を深めていってほしいと思います。

お弁当のコンテスト最終審査に選んで頂きありがとうございました。夏休みの宿題だったのがきっかけで、ここに呼んでいただき、娘共々うれしい気持ちでいっぱいでした。すごく練習を重ねてきたかというところでもなく、毎日少しずつですが一品ずつ作って今日に至りました。はっきり言って娘はお料理が苦手で、家でもあまりご飯の支度をする事も無かったのですが、コンテストにむけて厚焼玉子を焼いたり、ハンバーグを作ったりと頑張っていました。少しはお料理にめざめてくれると私もすごく助かるのですが…。娘にとって足をけがしての参加となりましたが、思い出に残る経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

私は子供が3人いて、この娘の下に2人いるので、また是非参加したいです。



